

令和6年度 佐賀歯科衛生専門学校自己評価（歯科衛生士科）

学校基本方針
医療人としての豊かな人間性と社会性を涵養し、専門職としての高度な知識や技術を習得した歯科衛生士を養成する。
学校教育目標
① 専門的な医学知識を身に付け、高度化する医療技術や高齢化社会に対応できる能力を養う ② 学問的裏付けによる問題解決能力とそれを応用できる創造性を養う ③ コミュニケーションスキルやホスピタリティマナーを身に付け、豊かな人間性と社会性を育む ④ 専門職としての自覚を持ち生涯学ぶ努力をする歯科衛生士の養成
重点的に取り組むことが必要な目標や計画
① カリキュラムの充実を図り有能な人材を養成する ② 国家試験100%合格、就職率100%による地域医療への貢献 ③ 歯科衛生士を目指す自覚を持ち時間厳守、学則厳守し自己管理に努める ④ 充実した学生生活のために心理的ケアも含めた健康管理を支援する ⑤ 人材確保のために適切な情報の提供に努める。

評価項目の達成及び取組状況

適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

(1) 教育理念・目標				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
学校の理念・目的・育成人材像は定めれているか	3.8	・学校の理念等を学生及び保護者がどこまで周知しているかわからない ・保護者や社会に向けての発信がまだまだ少ない ・学校の理念等はまだまだ保護者に普及されていない	・保護者会を継続し周知していく ・保護者会や始業式等で再確認する ・文書での連絡。情報共有を行う ・ことあるごとに伝える場を設ける	・保護者会の開催は評価できる ・情報共有・周知に多くのことを実践していることも評価できる ・学生が学校の理念、社会的ニーズ、期待についてどのくらい理解しているか疑問に思われる部分がある ・保護者会の出席状況が芳しくないとの報告を受けているため、出席率を上げるための保護者会の開催方法（Web等）についての検討が必要と感じました。 ・佐賀県歯科医師会作成の「さがDHお役立ち情報」のようなアカウントを立ち上げ、保護者のLINEグループを作成し保護者への情報発信を行ってはどうか
学校における職業教育の特色は何か明確に示されているか。	3.8			
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.5			
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	2.9			
各学科の教育目標、人材育成像は、学科などに対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.3			
(2) 学校運営				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
目的などに沿った運営方針が策定されているか	3.5	・無理なく運営できる人材が足りていない ・システム化はできていない ・教育活動に関する情報公開が少なく、認知されていない ・慢性的な教員不足 ・学校運営に関して歯科医師会会員自体がよく理解していない部分がある ・機構、財務の健全化、明文化	・人材確保 ・情報共有し システムをスリム化していく ・情報公開の方法を考え、強化する ・先を見据えた採用、育成を行う（育成には最低3年かかります） ・学校のことをもう少し理解してもらえよう会員協議会、代議員会等で伝えていく ・歯科医師会と学校との機構の明確化が必要	・人材確保については継続して進める必要があると思われる ・組織システムについても継続してスリム化に努めていただきたい ・歯科医師会立であるで、会員に理解いただくことは重要であり、今後も努めていただきたい ・現在学校運営委員会が地区選出理事で構成され以前より学校についての課題等の執行部の理解は高まっていると思います。しかし情報がどこまで地区歯科医師会レベルで共有されているかは疑問もあります ・慢性的な教員不足については財政難ではありますが給与等の検討も必要かと考えます
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.6			
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.3			
人事、給与に関する規定等は整備されているか	3.6			
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.3			
業界や地域社会等に関するコンプライアンス体制が整備されているか	3.4			
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.7			
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.8			

(3) 教育活動				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.6	・教員の不足 ・教員確保のマネジメントができていない ・職員のスキルアップするための時間が確保できない ・臨床実習講師への学生の状況が周知できていない ・授業評価体制の整備	・教員確保 ・関係各所と連絡を取り常時人材確保に努める ・臨床実習講師、学科講師へのセミナーを実施する ・学生が率直に授業評価ができる体制の構築。 ・研修時間の確保に努める	・継続して教員の確保に努めていただきたい ・臨床実習・学科講師へのセミナー、教員の研修等学生教育の質の向上には継続して取り組んでいただきたい ・安定的な教員確保 ・同窓会の積極的な活用による離職中の歯科衛生士の掘り起こしを行う（同窓会の中に委員会を作り、同窓会を活性化させる。学校教員が同窓会業務を行うことは負担が大きい） ・教員全員に対し、自己研鑽・意識向上の為、歯科衛生士会への入会を勧奨する ・日本歯科衛生士会では主催で歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成事業や臨床実地指導者等の人材養成事業として「歯科衛生士の研修指導者・臨床実地指導者等講習会」が毎年行われているので、積極的に参加していただけたらと思う ・教員の不足については増員が待たれるところですが歯科医院に勤務している歯科衛生士の中に歯科衛生士教育に興味を持つ人材がいる可能性もあり何らかの形で教員募集のアクションを検討する必要性を感じます ・学生や保護者に対してもキャリアについての情報提供も必要と思われます。全国的に新卒の歯科衛生士の歯科医院への就職率が低下しているというデータも有り気かりです
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.5			
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.7			
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.0			
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.2			
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携)によるインターンシップ、実技・実習等が体系的に位置づけられているか	2.8			
・授業評価の実施・評価体制はあるか	3.8			
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.7			
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.7			
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.3			
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2.6			
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3.0			
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3.2			
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.2			
(4) 学修成果				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
・就職率の向上が図られているか	3.5	・国家試験合格率の低下 ・卒業生の活躍・動向の把握ができていない ・県外の就職希望者が増えており、卒業後の動向を把握しきれていない。	・年度ごとに元々の成績の違いはあるが早期より国試に対する意識づけを行う ・卒業生の追跡調査の実施 ・卒業生のコミュニティ・ネットワークの構築 ・卒業生の長期にわたるフォローアップを行う方策を考える必要がある ・歯科衛生士会への入会が増えるような活動を行う	・国家試験対策については評価します。今後も合格率の向上に努めていただきたい ・卒業時に、学生部から継続して歯科衛生士会入会者がほぼ0名に近い。長期にわたるフォローアップの為に自分たちの職業の職能団体であることを自覚し将来を見据えて、卒業と同時に入会してほしい。（歯科衛生士会の良さを卒業時から体験してほしい） ・学生の時点から国家資格としてもプロフェッショナル意識を持てるような教育が必要と思われます。卒業時の職能団体としての歯科衛生士会入会はその一環として取り組んでいただきたいと思います
・資格取得率の向上が図られているか	3.6			
・退学率の低減が図られているか	3.3			
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.7			
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	2.5			
(5) 学生支援				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.9	・高校との連携ができていない ・中学・高校等との連携が出来ていない	・保護者との連携強化の継続 ・小・中・高校でのキャリア教育として口腔衛生講話などを実施する ・高校の学校歯科医と連携して、高校に職業周知キャリア教育を働きかける	・県内高校への訪問等評価いたします ・職業周知キャリア教育を働きかけ継続してお願いいたします ・奨学金制度の確立 ・広告塔となりうる歯科衛生士の育成 ・小中学生に対してのアプローチとして歯科校医との連携をパッケージとしたコンテンツを作っていたらできれば大いに活用する歯科校医も増えるのではないでしようか
・学生相談に関する体制は整備されているか	3.9			
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.3			
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.3			
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.9			
・学生の生活環境への支援は行われているか	2.8			
・保護者と適切に連携しているか	3.2			
・卒業生への支援体制はあるか	2.8			
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.2			
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2.8			
(6) 教育環境				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.1	・施設、設備の逐次更新が必要 ・自動ドアの故障などで避難経路などが確保できていない ・設備器材が古くなったものもある ・施設が老朽化してきている ・防災マニュアルの整備	・古くなった機材の入れ替えを計画を立てて行う ・定期的な点検 ・セキュリティ対策 ・教育の質の改善 ・防災マニュアルを作成していく	・施設、設備の点検。また、その維持お願いいたします ・防災マニュアルの作成お願いいたします
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	2.9			
・防災に対する体制は整備されているか	3.3			

(7) 学生の受け入れ募集				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	3.6	・高校への学生募集活動だけでは手遅れであると感じている ・学納金が他校と比べ低く設定されているため今後の運営を考えると改定が必要となる可能性がある ・定員充足率の改善	・学生募集活動を引き続き強化する ・小学校、中学校での周知活動を強化する ・社会情勢等鑑み適正な学納金を制定していく ・少子化のため難しい面はあるが手を尽くしていく	・少子化の中、行われている学生募集活動については評価いたします ・社会情勢等鑑み適正な学納金の制定については評価いたします ・キッズケアサガのイベントは、小・中学生への職業周知に少しづつだが繋がっていると思う。今後も、地道な活動を歯科衛生士会としても行っていきたい
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.3			
・学納金は妥当なものとなっているか	3.7			
(8) 財務				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2.0	・入学生の確保 ・学校運営資金が生徒の数により上下する運営状況になっており、安定した財源がない ・財政基盤の安定化	・財務状況の改善 ・安定した財源の確保をめざす ・歯科医師会と連携をとりながら安定化を図る	・安定した財源の確保は必須だと思われるため、対応お願いいたします ・入学生の確保は喫緊の課題ですが財政難に対して具体的な財源確保について歯科医師会からの財政支援を検討する必要があると考えます
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2.7			
・財務について会計監査が適正に行われているか	3.8			
・財務情報公開の体制整備はできているか	3.5			
(9) 法令等の遵守				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.8	・評価機構はあるが、改善が難しい部分がある ・自己評価で挙げた問題点の改善	・問題点はスピード感を持って解決していく必要がある ・自己評価で挙げた問題点の改善を順次行っていく	・対応について評価できる
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.8			
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.6			
・自己評価結果を公開しているか	3.9			
(10) 社会貢献・地域貢献				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2.6	・教育訓練を受託する余裕がない ・地域との連携がとれていない ・ボランティア活動は個人にゆだねていることが多く学校からの働きかけはない ・地域社会への貢献 ・学生の社会貢献意欲の低下	・施設や教育資源を活用して地域への情報発信を行っていく ・地域に貢献し認知していただけるシステムを構築する ・地域で行われているボランティア活動等を調べて掲示するなど、学生に対しての啓発を行う ・学校の教育資源を活かしながら地域に対する活動を行っていく ・学生の社会貢献に対する意欲・心配り・責任感への教育を行う	・各々対策評価いたします ・歯科衛生士会主催の「むし歯をなくそう会」は、学生の地域貢献の絶好の機会であるため、更なる参加の声かけをお願いしたい ・高齢者施設との連携という観点から少人数での訪問口腔ケア等のボランティア活動を模索してみたいかがでしょうか
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2.9			
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	2.6			